

報道関係各位

2015年4月1日
学校法人成城学園

理系学部を持たない文系大学成城大学で 全学生対象の「ビッグデータ」関連の講義をスタート！ IBM 担当授業「データサイエンス概論」開設

成城大学（東京都世田谷区 学長：油井 雄二）は、学校法人成城学園と日本アイ・ビー・エム東京基礎研究所が、2014年3月12日に締結した組織間の提携と協力の推進に関する包括的な協定に基づく事業の一環として、2015年4月からはじまる前期科目として、日本アイ・ビー・エム提供によるビッグデータの活用に関する講義「データサイエンス概論」を開講します。

本講義は、「データサイエンス概論～人間とコンピューターの新たな関係を築くビッグデータの活用～」と題し、成城大生全学部全学年を受講対象とした全15回の前期開講科目で、毎回IBMの方が交代で講師を務め（オムニバス形式）、ビッグデータに関する様々な技術や適用事例を紹介していきます。予定されている内容は次のとおりです。

- ・社会やビジネスを大きく変える第3世代のコンピューティング
- ・アニメと第3世代のコンピューティングのいい関係！?
- ・画像処理技術の展望と第3世代のコンピューティング
- ・言葉を扱う技術（自然言語処理）とビッグデータの接点
- ・お客様の音声をビジネスに生かす音声認識 — 音声ビッグデータの活用の広がり
- ・ビッグデータ時代のセキュリティリスクとセキュリティ対策技術
- ・ソーシャル・メディア分析最前線—センサーとしての役割を果たすソーシャル・メディアとその分析技術
- ・震災時におけるソーシャル・ネットワークの効果と脅威 — 評判・風評分析の重要性
- ・新しいクラウドによるアプリケーション作成体験
- ・社会インフラ（金融・交通など）のシステムを支え続けるメインフレーム
- ・医療技術支援のためのビッグデータの活用

（順不同）

本件に関するお問い合わせ

学校法人成城学園 〒157-8511 東京都世田谷区成城 6-1-20
企画広報部 TEL 03-3482-1092 FAX 03-3482-1489 HP www.seijogakuen.ed.jp/

成城大学は理系学部を持たない文系大学ですが、ソーシャル・ネットワークやスマートフォンという身近な話題からその背後にあるビッグデータの存在や価値を知ること、自分たちの生活と社会の関わりを学生が改めて認識すると同時に、論理的な思考、科学的な思考を身につける教育の場と考えています。具体的には、ビッグデータの利用技術や適用技術を広範囲に学び、それらの利点や問題点を理解して初歩のデータサイエンス知識を身に付けることで、文系の視点で科学を考えられる人材、あるいは科学的視点で文系の専門分野を考えられる人材の育成を目指しています。

【学校法人成城学園と日本アイ・ビー・エム東京基礎研究所が締結した協定】

学校法人成城学園と日本アイ・ビー・エム東京基礎研究所（「IBM 東京基礎研究所」）は、情報技術革命を背景としてグローバル化が進展するなかで、“国際社会で活躍できる地球市民”の人材育成およびそれに関する ICT（Information and Communication Technology（情報通信技術））分野などにおける研究・技術の向上に資することを目的として、平成 26 年 3 月 12 日（水）に、組織間の提携と協力の推進に関する包括的な協定を締結いたしました。



協定締結式の様子（2014年3月12日）。油井雄二学園長・学長（左）と IBM 東京基礎研究所の森本典繁所長（右）。